

審査意見への対応を記載した書類（6月）

（目次） 複合芸術研究科 複合芸術専攻（D）

1. 入学希望者が事前に自身の研究計画を相談できる機会を設けることが必要であるが、申請書類上では不明確なため、貴学の対応方針について明確にすること。（改善事項）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

(改善事項) 複合芸術研究科 複合芸術専攻 (D)

1. 入学希望者が事前に自身の研究計画を相談できる機会を設けることが必要であるが、申請書類上では不明確なため、貴学の対応方針について明確にすること。

(対応)

入学希望者が事前に自身の研究計画についての相談を行い、研究指導教員から助言を受ける機会を設け、学生募集要項および本学ホームページにおいて周知する。

本課程においては、現代芸術を「複合の視点」から理論化・体系化を試みる研究を行うことで、現代芸術領域の拡張と持続可能な社会の構築に寄与することを目的としている。それに伴い、入学対象としている者については、本学修士課程修了者に限らず、現代芸術の現場で活動する作家や社会人等の美術関係者も対象としており、多種多様な分野、領域からの研究テーマの設定が想定される。これらの者に対し、入学希望者が本課程において実践しようとする研究計画を事前に相談の上、本課程における教育・研究目標に則した研究内容であるかを相互に確認することは重要であると捉えているため、「入学前の研究指導相談」として研究・修学に関する相談をできる機会を設ける。

具体的には、本課程入学希望者に対し、事前に志望する研究指導教員から研究計画や修学に関する相談ができる機会を提供するため、出願前に「入学前の研究指導相談」の受付を実施する。任意による直接訪問もしくはメールによる相談を受け付け、研究指導教員から研究内容に関する助言を行う旨を学生募集要項および本学ホームページに「入学前の研究指導相談」として掲載し周知する。

以上のことから、設置の趣旨等を記載した書類 26 頁のⅦ 5 「入学者選抜の概要」「選抜方法」に「入学前の研究指導相談」についての記述を追記する。

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (26 頁)

新	旧
<p>Ⅶ 入学者選抜の概要</p> <p>5 選抜方法</p> <p>選抜方法は、本課程の教育を受けるにふさわしい能力と適性を備えた人材を合理的に判断するために、学際的なテーマに基づく論述試験や面接を含む口頭試問により実施する。なお受験者には、入学願書に志望理由書、研究計画書等を書類添付させることとし、これらの出願書類をもとに面接を含む口頭試問を実施し、総合的に判断する。</p> <p><u>また、本課程への入学前に研究指導教員から自身の研究計画について助言を受ける機会を提供するため、「入学前の研究指導相談」を実施し、任意による直接訪問やメールなどでの研究・修学に関する相談を受け付ける。</u></p>	<p>Ⅶ 入学者選抜の概要</p> <p>5 選抜方法</p> <p>選抜方法は、本課程の教育を受けるにふさわしい能力と適性を備えた人材を合理的に判断するために、学際的なテーマに基づく論述試験や面接を含む口頭試問により実施する。なお受験者には、入学願書に志望理由書、研究計画書等を書類添付させることとし、これらの出願書類をもとに面接を含む口頭試問を実施し、総合的に判断する。</p>

c その他

事項	旧	新	補正理由
設置の趣旨等を記載した書類			
Ⅶ 入学 者選抜の 概要	<p>P26</p> <p>5 選抜方法</p> <p>選抜方法は、本課程の教育を受けるにふさわしい能力と適性を備えた人材を合理的に判断するために、学際的なテーマに基づく論述試験や面接を含む口頭試問により実施する。なお受験者には、入学願書に志望理由書、研究計画書等を書類添付させることとし、これらの出願書類をもとに面接を含む口頭試問を実施し、総合的に判断する。</p>	<p>P26</p> <p>5 選抜方法</p> <p>選抜方法は、本課程の教育を受けるにふさわしい能力と適性を備えた人材を合理的に判断するために、学際的なテーマに基づく論述試験や面接を含む口頭試問により実施する。なお受験者には、入学願書に志望理由書、研究計画書等を書類添付させることとし、これらの出願書類をもとに面接を含む口頭試問を実施し、総合的に判断する。</p> <p><u>また、本課程への入学前に研究指導教員から自身の研究計画について助言を受ける機会を提供するため、「入学前の研究指導相談」を実施し、任意による直接訪問やメールなどでの研究・修学に関する相談を受け付ける。</u></p>	<p>審査意見1を踏まえ、入学希望者が事前に自身の研究計画を相談できる機会を設ける。</p>